



瑞浪市青少年育成市民会議だより 第15号

# 笑顔あふれるみずなみ

## 『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議 TEL 68-5281 (総合文化センター内)  
〔編集〕 瑞浪市青少年育成市民会議広報部会



第1回瑞浪市青少年育成市民会議総会  
令和元年5月19日(日)



土岐地区町民会議(モデル地区指定)  
「活躍を期待しています」



「地域の絆、みんなの笑顔  
～こころ元気な大人が、子どもの未来を築く！～」  
鎌田 敏 氏(こころ元気研究所長)による講演



青少年育成市民会議総会後に、日本メンタルヘルス協会基礎力ワンセラー、心理相談員などの資格をもち、全国各地で講演・研修活動を行なっていたりっしやる、こころ元気研究所長の鎌田敏氏に講演をしていただきました。『地域の絆、みんなの笑顔〜こころ元気な大人が、子どもの未来を築く〜』と題して、「コミュニケーションはキャッチボールである」「空気を自ら作り出す(自分がアクションを起こすことで空気は変わる)」「心の居場所をつくることで元気は出てくる」「双方のやり取り(分かつとすること)でギャップを小さくしてコミュニケーションのエラーをなくす」ことなどが大切であるという内容のお話を聴き、参加者からは、次のような多くの感想をいただきました。

○ 青少年育成はまず相手を理解することから、そして自分の心が元気であること、「コミュニケーションの基盤は、相手のことを分かつとすることであることに改めて気づきました。」

○ 講師の話方(口調、抑揚など)がとても心地よく、聞いていて元気になりました。「キャッチボール」というたとえをよく使いますが、鎌田先生の話や隣の方とのワークを通して、実感として捉えることができたような気がします。「元気は出てくるもの」という言葉に納得しました。職場の環境や学校の環境がよいものであることが重要だと改めて思いました。今後、職場や家庭で、KY活動(従来の空気が読めないではなく、空気(心)を良くしていこうとすること)を意識していきたいと思えます。

○ 地域でも家族でも、「自分から空気を覚えていく(良くしていく)こと、それが周りに広がっていく」と考えていきたいと改めて思いました。

○ 普段、伝えたいことが相手に本当に伝わっているのか、自分の思い込みだけではないのか、考えさせられる時間でした。常に笑顔で、元気でいることで周りの人々も元気にすることができれば、各家庭でも今ニュースに出てくるような事件も起きないし、周りの大人も見守りの目で見ることができるようになるのではないかと思います。

○ コミュニケーションの大切さ、相手意識の大切さ、笑顔の大切さ、子どもを元気にさせるための方法、コミュニケーションの大切さ等、とても役にたつ話の内容で、元気をもらえた感じがしました。

# 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」啓発活動

7月と11月に全国強調月間の啓発活動として、各地で様々な取組が行われています。瑞浪市でも、『なくそう非行 地域で育む青少年』『青少年 地域で守ろう 育てよう』をスローガンに、青少年育成市民会議、各地区町民会議、東濃西部少年センター瑞浪地区指導委員会の皆様にご協力をいただき、瑞浪地区・土岐地区・陶町・稲津町・釜戸町・明世町・大湫町・日吉町の各夏祭りや祇園祭り会場にて、多くの方々に対して啓発活動を行うことができました。

各会場では啓発タオルや啓発ポケットティッシュ「有害なインターネット環境から児童を守ろう!」「未成年者喫煙防止啓発キャンペーン」「瑞浪の青少年は瑞浪市民の手で、みとめて、ほめて、はげまして、みんなの力で健やかに」を配布して、青少年の健全育成への呼びかけを行いました。

台風の接近により、例年実施してきている商業施設(ピアゴ・バロー)での啓発活動は残念ながら中止しました。

11月には「子ども・若者育成支援全国強調月間」の啓発活動を各地区文化祭会場にて実施する予定です。地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いたします。



「土岐地区夏祭り」にて (7/6)



「陶地区祇園祭・夏祭り」にて (7/13、20)



「稲津地区夏祭り」にて (7/28)



「釜戸地区夏祭り」にて (7/28)



「明世地区夏祭り」にて (8/31)



「大湫地区夏祭り」にて (8/3)



「日吉地区夏祭り」にて (8/4)



県内の非行少年の検挙・補導人数は減少傾向にあります。スマートフォンやSNSなどの新たな機器・サービスが急速に普及し、青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化する中で、SNS等の利用に起因する犯罪被害やいじめが増加しています。

青少年の非行・被害の防止について市民の皆様の理解を深める活動を通して、次代を担う青少年の健全育成に今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

# 青少年健全育成諸団体の活動紹介

## 夏季特別街頭指導

少年センター指導員瑞浪地区長 三宅 滋郎

東濃西部少年センター瑞浪地区指導員が班長となり、市民会議関係者と共に午後7時から約2時間かけて、瑞浪交番から駅前や土岐川沿い道路、公園や店舗周辺を巡回し、夜間の出歩きなどへの注意喚起の声かけや安全指導、ゴミ拾い等の清掃美化活動をしました。7月9日(火)～9月13日(金)まで26日間で、のべ130名程の参加がありました。

これは、瑞浪市青少年育成市民会議が毎年、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせて7～9月に行っている「夏季特別街頭指導」に、東濃西部少年センター瑞浪地区指導員会が協力している活動です。



4/28 日吉地区の「天神窯春まつり」にて



5/3 明世地区「このぼり祭り」で演奏する吹奏楽部



5/19 土岐地区「さわやかウォーキング」にて

## 校区の広がりとともに

瑞浪北中学校 校長 安藤 雅哉

今年4月8日に開校した本校は、瑞浪市の総面積の約7割をその校区とします。したがって、旧瑞陵中、旧日吉中、旧釜戸中の3地区の生徒たちのそれぞれの校区で担ってきた役割が本校に集結しました。しかし、旧校区に住む生徒がそれぞれの校区で貢献するということを目指しているわけではありません。校区の広がりとともに、「瑞浪北中校区全域に貢献する」という意識を生徒たちにもたせたいと考えています。

4月28日に行われた日吉地区の「天神窯春まつり」を皮切りに、これまでにいくつかの地域行事やボランティア活動がありました。それらすべてに、中学生ボランティアが自主的に参加しました。そして、その参加者には、土岐地区、明世地区、日吉地区、釜戸地区、大湫地区に住む生徒が含まれています。つまり、自分の住んでいる地区以外の催しに、瑞浪北中の生徒は積極的に参加しているのです。

校区の広がり、生徒たちに「ふるさと瑞浪」を知るチャンスを与えました。そして、それは「ふるさと瑞浪」を愛することにつながります。やがては、家庭や学校だけでなく、地域にも育まれていることを強く実感できる中学生が育つことでしょう。

## 第48回瑞浪少年柔道大会にてロータリーデーを実施

瑞浪ロータリークラブ 木股 弘勝

去る平成31年1月20日(日)、地元の瑞浪市民体育館を会場に第48回瑞浪少年柔道大会が開催され、東海三県を中心に全国各地から93チーム689名の小中学生が参加し熱戦を繰り広げました。その他、指導者や来賓、そして運営にかかわる役員が246名、そして同伴された保護者や地元柔道ファンは数知れず、会場内の熱気は冬の寒さを吹き飛ばすほどでした。

本大会は、青少年の健全育成と柔道スポーツの普及振興を目的に瑞浪ロータリークラブが創設し、第1回大会を主催、第2回より地元道場である瑞浪修徳館が主催し当クラブは後援して今日に至ります。

当日は「ロータリーデー移動例会」として、選手や応援の家族で賑わう会場の一隅に瑞浪ロータリークラブのブースを設営、ポリオ撲滅運動のパネルを展示し募金の協力を募りました。

後援会活動や広告協賛にとどまらず、国際奉仕活動や青少年の健全育成に貢献する瑞浪ロータリークラブの姿を、参加者の皆さんに大いにPRすることができた一日となりました。



# 瑞浪市主張大会

## 出場者氏名

◎最優秀賞 「1」題名  
○優秀賞

### 小学生の部

◎恩田 民緒 稲津小6年

『みんなで守ろう、  
生き物の命』

○柴山 凜 土岐小6年

○阿部久瑠美 陶 小6年

○渡邊 瑚子 明世小6年

○大嶽 和斗 日吉小6年

○柴田 英明 釜戸小6年

○三輪帆ノ花 瑞浪小6年

### 中学生の部

◎安江 杏 瑞浪中3年

『自分を好きに  
なるために』

○加藤 里唯 瑞浪南中3年

○與川 賢樹 瑞浪北中3年

### 高校生の部

◎柘植 優愛 瑞浪高2年

『すべての人が  
生きやすい世界を』

○荒武優衣香 中京高3年

### 一般の部

○野村 日莉

○水野 晟也



中学生の部 瑞浪市最優秀賞  
(東濃地区代表、県大会出場)  
安江 杏さん (瑞浪中3年)

## 「自分を好きになるために」

私は、自分が嫌いだ。これにはいくつかの要因があるが、その一つとして「自分に魅力を感じないこと」がある。例えば、自分の周囲の人を思い浮かべてみる。「明るくて、おもしろい人だな」「一緒にいて楽しい人だな」と、何かしら魅力を感じる。他の人も同じように思うのだろう。だから、自然と人が引き寄せられていく。誰かから必要とされている。私も、そんな人間になりたいが、今までの自分を振り返っても、魅力を感じる要素は全然見当たらない。何となく落ち込んでいる時は、ぼんやりとした灰色の世界に、ぽつんと一人、どこに向かっていいのかわからないような気分になる。

だから、私は父に聞いてみた。

「私さ、自分のこと、嫌いなんだけど、どうしたらいいと思う？」  
と。父は、

「じゃあさ、優しい人になって、それを自信にしてみたらいいんじゃない？まずは、一日一善からかな。」と言った。優しい人か……。私が思い浮かべていた人とは少し違うかもしれないけれど、何もない自分よりはずっといいな、と思った。でも、心に引っかかったことがある。「一日一善」だ。一日一つ良いことをする。それは簡単そうに聞こえるが、三日坊主の私にとって、とても大変なことだ。また、もし続けられたとしても、感謝の気持ちを言葉にして伝えてもらえなかったら、心が折れてしまうかもしれない。私は、誰かのために何かをしたとき、どうしても「ありがとう」という言葉が欲しかった。それが、良いことをした自分への報酬だと思っていた。そんな私に、父は言った。

「それって、見返りを求めているんじゃない？」

ドキッとした。心を見透かされたような気がした。違うと言おうとしたが、見返りという言葉がどうしても頭を離れなかった。

私はこのとき初めて気づいた。自分を認めてもらうために良いことをする。それは、心からその人のためを思って行動するのは全然違う。これは、優しさという名の自己満足だ。にせものだ。「ありがとう」という言葉や、自分への評価は、しょせん「おまけ」に過ぎない。もちろん、もらえればうれしいが、もらえなくても「やらなければ、よかった」と思うのは何かが違う。そう思った。

大層なことを述べているが、そう簡単に変わる私ではない。しかし、転機は突然やってきた。近くの席の子が、机の上のノートを落としたことに気付かず、行ってしまったのだ。私は一瞬「誰も拾わないし、本人が気付いて拾うだろうから、まあいいか」と思った。しかし、ふと「このことか！」と思い、黙ってノートを拾った。

一筋の光が差したような感覚だった。私が拾ったことには誰も気付かない。もちろん「ありがとう」もない。しかし、私は満足だ。なぜなら、見返りを求めず、その人のためだけに動くことができたからだ。優しい人になる第一歩を踏み出した気がした。

最後に、私は「ありがとう」という言葉を大切にしていきたい。今まで述べてきたことと矛盾していると思う人もいるかもしれない。しかし、感謝することは、とても大切なことだと私は思う。なぜならば、相手が私のためにしてくれたことは、決して当たり前ではないからだ。だから、私はどんなささいなことにも、心のこもった「ありがとう」を伝えたい。

私は、今まで自分が嫌いだった。良さなんてないと思っていた。でも、悩みながら、もがきながら、少しでも「なりたい自分」に近付くために、前に進もうとしている私。こんな自分は嫌いではない。

いつか、見返りなんて求めず、人のために動くのは当たり前と思えるように。自分を好きになれるように。今日も、一日一善を実行する。

## ご来場の皆様より 温かい感想をいただきました!

- ・それぞれの主張を聞いて、自分の生活を見つめ直すことができてよかったです。
- ・それぞれの年代で物事のとらえ方がどういうものなのか理解できました。また、そのことを感じる事ができてよかったです。みんなよく練習していることが伝わってきました。



【小学生の部】



【高校生の部】

- ・しっかりとした考え・目標・意見をもった子どもたちを見て、学校・家庭・地域の教育環境がとてもよいと感じました。
- ・同年代の子をもつ親として、子どもたちの生き生きとした主張が聞いて刺激になりました。
- ・小学生の発表では誠実さが伝わりました。中学生の発表は人との関わり、歴史を紡ぐ、つなぐなど広がりを感じました。高校生の発表は大人だなあと感じました。成人の年が20歳から18歳になっても大丈夫だなと感じました。

- ・一般の部が位置付き、一般の参加者がいることがすばらしいです。
- ・一般の人の地球規模の話はよかったです。この気持ちを地域の一人一人が少しでも考えられるようになるといいと思いました。



【一般の部】



司会進行や審査補助など大会運営に積極的に協力した高校生の皆さん



アトラクションでキラのあるダンスと美しい歌声を披露したMJC(みずなみ児童合唱団)の皆さん

瑞浪市青少年育成市民会議は、以下の諸団体に支えられています。

- \*市議会 \*教育委員会 \*各地区町民会議 \*社会教育委員会 \*連合自治会 \*市小中学校校長会
- \*市幼稚園園長会 \*瑞浪高等学校 \*中京学院大学附属中京高等学校 \*麗澤瑞浪中学・高等学校
- \*中京学院大学 \*市PTA連合会 \*市子ども会連合会 \*東濃西部少年センター \*市スポーツ少年団
- \*市民生委員・児童委員協議会 \*社会福祉協議会 \*多治見警察署瑞浪警部交番 \*瑞浪保護区保護司会
- \*瑞浪ロータリークラブ \*瑞浪ライオンズクラブ \*瑞浪桔梗ライオンズクラブ \*瑞浪青年会議所

市民会議 本部

★理事代表 ☆理事副代表

会長 水野 光二 (瑞浪市長)

◇全国強調月間啓発活動 (7月・11月)

伊藤 恭司	野田 祐作	工藤 剛士	大山 雅喜	事務局 後藤 東	県育成指導員 旗 秀樹	溝口 弥	和田 建司	岩島 辰也	向井 一峰	堀部 睦美	鈴木 かわり	☆萩尾 英明	☆重田 博之	★安田 善一朗	市推進員	理事 清水 憲雄	監事 遠藤 滋	南波 昇	平林 道博	勝藤 康弘	伊藤 正隆	熊谷 隆男	副会長
-------	-------	-------	-------	-------------	----------------	------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	---------	------	-------------	------------	------	-------	-------	-------	-------	-----

専門部会

【 】部会 ◎部会長  
◇主な活動 ○副部会長

【事業部会】

◎重田 博之

<家庭地域教育事業>

- ◇「高校生と語る会」
- ◇「教育講演・懇談会」

○鈴木かわり  
 榛葉 利広  
 伊藤 慶和  
 田中真奈美  
 小野 耕一  
 小栗 一昭  
 丸山 和宏  
 石川 哲也  
 阿部 敬  
 加藤由紀子  
 田中 妙子  
 岩島留美子  
 長瀬 貞次  
 土屋泰次郎  
 工藤 重孝  
 水野 勝人  
 横井 宏之  
 加藤 正  
 安藤 正剛  
 西山 春義  
 伊藤 明芳  
 滝川 直樹  
 向井 一峰  
 溝口 弥  
 岩島 辰也

<環境改善事業>

- ◇「夏季特別街頭指導」
- ◇「無ガム中」大作戦

○堀部 睦美  
 足立 亘  
 大瀧 國嘉  
 小川 正人  
 三宅 滋郎  
 安田 貴彦  
 青木 彩人  
 鈴木 峻矢  
 田澤 保之  
 小出澤利哉  
 安藤 昇  
 中山 敦子  
 西尾みのり  
 藤本 恭子  
 三宅 芳明  
 木股 弘勝  
 永田 和典  
 安藤 敏彦  
 可知 良浩  
 土本 典史  
 後藤 東  
 和田 建司  
 旗 秀樹

【広報部会】

◎萩尾 英明

◇「市民会議だより」

○酒井 周文 工藤 重孝  
 清水 憲雄 早瀬 徹  
 安田善一朗

今後の主な年間行事予定

- ・11月『子ども・若者育成全国強調月間』啓発活動
- ・11月17日(日) 青少年育成県民大会  
 ※瑞浪市総合文化センターにて、県民大会が開催されます。瑞浪市の青少年健全育成の取組を発表します。青少年育成にかかわってみる方々の多数の参加をお待ちしております。
- ・12月21日(土) 「無ガム中」大作戦 (駅周辺清掃ボランティア)
- ・1月31日(金) 第2回専門部会
- ・2月16日(日) 第2回青少年育成市民会議 (表彰・モデル地区発表)

編集後記

本年度より、瑞浪市青少年育成市民会議の規約並びに組織を、現状の青少年健全育成活動に沿ったものに変更しました。今後も市民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

青少年育成市民会議 広報部会  
 総合文化センター TEL68-5281